

### アプリケーションノート

# 臭化カリウム-臭素酸カリウム標準溶液の標定

関連業種 石油

使用装置電位差自動滴定装置

測定手法酸化還元滴定

関連規格 ASTM D1159, ASTM D5776, JIS K2605

### 1. 概要

#### 【注意】

本測定では人体に有害な試薬を用いるため、滴定装置は局所排気装置内に設置し、測定中は保護具を着用してください。

臭化カリウム-臭素酸カリウム標準溶液は、臭素価・臭素指数を測定する際の滴定液として ASTM 等、各種規格で使用されています。本アプリケーションノートでは ASTM D1159 の 方法に従い、0.25mol/L 臭化カリウム-臭素酸カリウム標準溶液の標定を紹介します。標定の化学反応式は、下記の通りです((1)臭素の生成、(2) ヨウ化カリウムとの置換反応、(3) チオ硫酸ナトリウム溶液による滴定)。既知濃度のチオ硫酸ナトリウム溶液で滴定することで、調製した臭化カリウム-臭素酸カリウム溶液の濃度を算出します。

(1) KBrO<sub>3</sub> + 5KBr + 6HCl 
$$\longrightarrow$$
 3Br<sub>2</sub> +6KCl+3H<sub>2</sub>O

- (2)  $Br_2 + 2KI \longrightarrow I_2 + 2KBr$
- (3)  $I_2 + 2Na_2S_2O_3 \longrightarrow 2Nal + Na_2S_4O_6$

## 2. 測定上の注意点

1日の測定の開始前には滴定液濃度の均一化のために試薬びん-ビュレット間で滴定液のパージを数回行った後、ビュレット-滴定ノズル間の滴定液を約10mL排出してください。

### 3. 分析終了後の処置

電極および滴定ノズルを純水で洗浄し、純水に浸漬してください。滴定ノズルを空気中に放置すると滴定液成分が析出し、ノズルが閉塞します。

### 4. 装置構成

本体 電位差自動滴定装置 (標準プリアンプリファイアSTD)

電極 複合白金電極 (C-272)、温度補償電極(T-171)

### 5. 試薬

滴定液 0.1 mol/L チオ硫酸ナトリウム溶液

試薬 35wt% 塩酸、氷酢酸

添加試薬 150 g/L ヨウ化カリウム溶液

### 6. 分析手順

- 1) 共栓つき100 mL三角フラスコに酢酸50mLと濃塩酸1mLを加え、0~5℃の氷浴中で10 分間冷却します。
- 2) 冷却した試薬に、0.25 mol/L 臭化カリウム-臭素酸カリウム標準溶液5mLを滴下して、直ちに栓をして振り混ぜ、反応させます。
- 3) 反応液を再度、0~5 ℃の氷浴中で5分間冷却後、150g/L ヨウ化カリウム溶液5 mLを加えて激しく振り混ぜます。
- 4) 200 mLトールビーカーに反応液を移し入れ、三角フラスコの内部や共栓を100 mL の純水で洗浄し、その洗液を反応液に合わせます。
- 5) 0.1 mol/L チオ硫酸ナトリウム溶液で滴定します。

### 7. 計算式

 $7r/9 = EP1 \times C1 \times FA/S$ 

EP1 = 終点滴定量(mL)

C1 = 濃度換算係数(0.2)

FA = 0.1 mol/L チオ硫酸ナトリウム溶液のファクター(1.0430)

S =試料採取量(5mL)

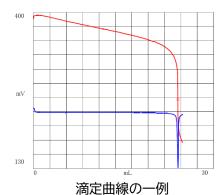
### 8. 測定例

-測定パラメータ-

| <滴定モード>     | 自動間欠    | <制御パラメータ> |    |
|-------------|---------|-----------|----|
|             |         | 終点検出数     | 1  |
| <滴定様式>      | 自動終点停止  | 終点判断方法    | 自動 |
|             |         | ゲイン       | 1  |
| <滴定パラメータ>   |         | データ採取条件   | 自動 |
| 最大滴定量(mL)   | 30      | 制御速度モード   | 標準 |
| 検出方法(制御用)   | Chl, mV | その他の制御    | 標準 |
| 検出方法(参照用)   | Off     | 自動間欠モード   | 標準 |
| pH入力電位      | 標準      | スターラスピード  | 4  |
| 滴定の種類       | チェックしない |           |    |
| 終点検出方向      | 自動      |           |    |
| 滴定前の待ち時間(s) | 0       |           |    |
| 定量注入モード     | しない     |           |    |



#### -測定結果-



|           | 測定結果        |         |
|-----------|-------------|---------|
|           | 滴定量<br>(mL) | ファクター   |
| 1         | 24.1015     | 1.0055  |
| 2         | 24.0938     | 1.0052  |
| 3         | 24.0993     | 1.0054  |
| 平均        | _           | 1.00537 |
| 標準偏差      | _           | 0.00015 |
| 相対標準偏差(%) | _           | 0.015   |
|           |             |         |

(測定パラメータおよび滴定曲線は弊社電位差滴定装置の一例です。機種によってはパラメータ項目が異なる場合があります。)

### 9. 補足

本測定のように滴定量が多い場合は、滴定液の定量注入を設定することで滴定時間の短縮が可能です。

# 10. 参考文献

- · ASTM D1159-07 Standard Test Method for Bromine Numbers of Petroleum Distillates and Commercial Aliphatic Olefins by Electrometric Titration
- · ASTM D5776 Standard Test Method for Bromine Index of Aromatic Hydrocarbons by Electrometric Titration
- ·JIS K 2605 石油製品 臭素価試験方法 電気滴定法